

## 令和8年度 沖縄県市町村 DX 支援業務 企画提案審査基準

審査項目ごとの審査内容は以下のとおりとする。

なお、企画提案書に記載のない提案については、審査対象外とする。

項番	審査項目	審査内容
1	適格性	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 業務の趣旨・目的を理解した提案がなされているか</li> <li>➤ 本業務の実施に対し意欲的であるか</li> <li>➤ ICT/DX 関連及び自治体 DX の知見を有し本業務に活かすことができるか</li> </ul>
2	類似業務の受託実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 類似業務の受託実績等を有しているか</li> <li>➤ 類似業務において、本業務受託者と同等の役割<sup>※1</sup>を果たし、成果をあげているか</li> </ul> <p>※1 プロジェクトマネジメント、事務局運営、自治体コンサル等</p>
3-1	伴走支援の実施方法 (DX 推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 支援対象 25 団体の現状を的確に把握し、分析する手法について具体的に提案されているか</li> <li>➤ 自治体 DX 全体手順書に示される DX 推進の手順 (ステップ 0～3) に応じた支援メニューについて、それぞれ具体的かつ効果的な提案がなされているか</li> <li>➤ 支援対象団体への現地訪問について、想定回数の設定やその考え方等が明確に示されているか</li> </ul>
3-2	伴走支援の実施方法 (システム標準化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 特定移行支援システムや一部機能の経過措置を受けたシステムを有する自治体への支援方法について、担当職員が抱える課題なども想定し、明確に提案されているか</li> <li>➤ 条例・規則等の改正や特定個人情報保護評価書 (PIA) の修正に係る作業の支援について、具体的な手順を示しているか</li> <li>➤ 運用経費最適化に向けた効果的な支援方法が提案されているか</li> </ul>
3-3	県主催会議の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 準備業務から当日運営業務、事後処理業務の一連の流れを円滑に進めるための手法や計画が示されているか</li> <li>➤ 事務局の運営方法や県、市町村、発表者との連絡調整の手法が迅速かつ確実なものになっているか</li> <li>➤ 開催前・開催後のアンケートの手法、アンケートフォームについて、市町村の業務環境を考慮した提案がなされているか</li> </ul>
3-4	市町村への情報提供業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 問い合わせ方法、問い合わせ窓口について、市町村の業務環境を考慮した提案がなされているか</li> <li>➤ 情報提供が効果的なものとなるような工夫が示されているか</li> </ul>
4	実施体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本業務を適切に管理運営するための、円滑なマネジメント、適切な経理マネジメント、課題共有及び改善方法等について、具体的かつ効果的な提案がなされているか</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 県への状況報告や課題の共有及び協議、調整会議の運営等、県との連携は円滑で効果的な提案となっているか</li> <li>➤ 業務の実施に必要な体制が整っており、必要なスキルや類似業務経験を有する者を配置する等、具体的かつ業務に対し効果的な提案がなされているか</li> <li>➤ 仕様書の想定スケジュールに沿い、適切にブレイクダウンされた業務スケジュールが提案されているか</li> </ul>
5	経済性	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 積算は適切で妥当か、過大・過小な積算はないか</li> </ul>